

福岡医発第 2089 号 (地)

令和 3 年 10 月 21 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

医療機関に対するサイバー犯罪防止のための広報資料の周知について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり福岡県警察本部より福岡県保健医療介護部を通じて周知依頼がありました。

さて、現在、全国的に企業を狙ったサイバー犯罪が敢行され、病院等の医療機関がサイバー犯罪の被害に遭う事例が報道されています。

本件は、全国におけるサイバー犯罪の発生状況から、県内でも同種事例が発生するおそれは十分に考えられることから、県内の医療機関に対し、別添のとおり「サイバー犯罪の被害時における警察への通報」及び「ランサムウェアによる被害」について記載した広報資料の周知を依頼するものです。

また、福岡県警察においては、本広報資料の周知により、県内の医療機関に対してサイバー犯罪発生時の警察への通報を促すとともに、事件を認知したときは、事件捜査を行うほか、被害医療機関における対策に必要な情報の提供・助言、他の医療機関への被害拡大を防止するための注意喚起等の被害防止のための取組みを行う予定とのことです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方につき、よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

会長 島田昇二郎

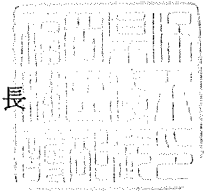
3医指第1908号

令和3年10月10日

公益社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部長

(医療指導課)



医療機関に対するサイバー犯罪防止のための広報資料の周知に関する協力依頼について

本県の保健医療行政につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
標記について、福岡県警察本部から別添（写）のとおり通知がありましたのでお知らせします。
つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

【担当】

医療指導係

TEL 092-643-3274

FAX 092-643-3277



福警サ対第854号
令和3年10月5日

福岡県保健医療介護部
医療指導課長 殿

福岡県警察本部
生活安全部サイバー犯罪対策課長
(公 印 省 略)

医療機関に対するサイバー犯罪防止のための広報資料の周知に関する協力
依頼について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。貴課におかれましては、日頃から警察活動に対し、深い御理解と御協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、現在、全国的に企業を狙ったサイバー犯罪が敢行され、病院等の医療機関がサイバー犯罪の被害に遭う事例が報道されています。

全国におけるサイバー犯罪の発生状況から、福岡県内でも同種事例が発生するおそれは十分に考えられます。

よって、貴課の御協力を賜り、県内の医療機関に対し、「サイバー犯罪の被害時における警察への通報」及び「ランサムウェアによる被害」について記載した広報資料の周知について御検討賜りたくお願い申し上げます。

福岡県警察においては、本広報資料の周知により、県内の医療機関に対して、サイバー犯罪発生時の警察への通報を促すとともに、事件を認知したときは、事件捜査を行うほか、被害医療機関における対策に必要な情報の提供・助言、他の医療機関への被害拡大を防止するための注意喚起等の被害防止のための取組を行いたいと考えておりますので、何卒、御協力いただきますようお願い申し上げます。 敬具

【問合せ先】

福岡県警察本部サイバー犯罪対策課
高度情報技術対処センター
情報分析・対策係

(担当 中村)

電話 (092)641-4141 (内線 3384)

E-mail airc2@police.pref.fukuoka.jp

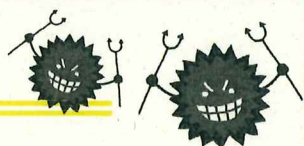
医療機関の皆様へ

サイバー犯罪の被害は警察へ通報を

社会のデジタル化の進展に伴い、業務に関するデータをオンラインで取り扱う機会が増加する中、医療機関を標的にしたサイバー犯罪も発生しています。

ランサムウェア や 不正アクセス は 犯罪 です

ランサムウェア



「ランサムウェア」と呼ばれるコンピュータウイルスに感染すると、パソコンやサーバに保存しているデータが暗号化され使用できなくなり、データを復元する対価として金銭を要求される。

さらには、データを盗み取った上、「対価を支払わなければデータを公開する」などと金銭を要求するダブルエクストーション(二重恐喝)という手口も発生している。

不正アクセスやコンピュータウイルスによる情報漏えい

パスワード管理の甘さやシステムの脆弱性を悪用して病院のネットワークに侵入するなどの不正アクセス、業務に関連するメールを装って送付されたメールの添付ファイルを開いたことによるコンピュータウイルスへの感染等により、個人情報や機密情報が盗み取られる。

テレワーク環境を狙った攻撃も発生している。



サイバー犯罪の実態を明らかにし、被害を拡大させないためには
被害を潜在化させないことが重要です。

このような被害にあわれたら、**最寄りの警察署**へご相談ください



警察では、サイバー犯罪に対する様々な対策を行っています



医療機関の皆様からの情報提供が
サイバー空間の安全
につながります

警察へ寄せられたサイバー犯罪に関する情報を分析し、事件捜査を行うほか、被害医療機関における対策に必要な情報の提供・助言、他の企業等への被害拡大を防止するための注意喚起等の被害防止のための取組を行っています。



福岡県警察本部サイバー犯罪対策課

最寄りの警察署の連絡先一覧はこちら

<https://www.police.pref.fukuoka.jp/keisatsusyo/ichiran.html>





福岡県警察サイバー犯罪対策課からのお知らせ

医療機関でもランサムウェアの被害が発生！

ランサムウェア (Ransomware) とは、「Ransom(身代金)」と「Software(ソフトウェア)」を組み合わせた名称のコンピュータウイルスです。パソコンやサーバーが感染するとデータが暗号化され、その復旧と引き換えに身代金が要求されます。

① 攻撃者がウイルスを添付したメール、閲覧すると感染するウェブサイト等を用意



② 不審なメール、ウェブサイト等から感染



③ データが暗号化され金銭を要求！
要求に応じても二重脅迫されるケースも！



④ 金銭を支払ってもデータ復旧の保証なし



※ ランサムウェア感染までの一例

ランサムウェアによる被害が世界的なニュースになっていますが、医療機関でも被害が発生しており、規模は関係なく**全ての医療機関が対象**となりえます。

被害防止の対策としては、

- OSやソフトウェア、ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にする
- メール添付ファイルやリンクを安易に開かない
- 不審なウェブサイトは閲覧しない
- 日頃から感染防止対策等の研修をして従業員のセキュリティ意識を高める

などに気を付けてください。

しかし、どれだけ対策をしても確実な被害防止は難しい状況になっていますので、被害にあった際の影響を最小限に抑えるため、

- 感染したパソコンは早急にネットワークから切り離す
- 定期的にデータをバックアップし、ネットワークから切り離して保存しておく

などを行い、被害時における事業継続に備えてください。

もし、ランサムウェアをはじめサイバー犯罪の被害等を確認した際には、まずは**最寄りの警察署へ通報、相談**してください。

